

# ほけんだより

令和3年9月  
アケボノ保育園

暑さもひと段落し、朝夕の風には秋の気配が感じられるようになりました。1日の中の気温差が大きくなるこの時期は、体調を崩しやすいときです。毎日の体調の変化にご注意ください。

## 感染症等発生状況

	6月	7月	8月
発熱	43(15)	19(25)	8(8)
胃腸炎症状 (嘔吐・下痢・腹痛)	9(4)	5(6)	3(3)
突発性発疹症	1		(3)
咳(喘息を含む)	20(6)	8(8)	
溶連菌感染症		(1)	
ヘルパンギーナ		(1)	
水痘		1	
とびひ			1(2)
中耳炎	4	1	2
アデノウイルス	1		
マイコプラズマ肺炎	1	(1)	
ヒトメタニューモウイルス	1		
手足口病			2

※ ( ) 内は、昨年的人数

昨年よりも発熱症状を含む感染症に罹る子どもが多かったです。ヒトメタニューモウイルス肺炎、アデノウイルスなど複数の感染症が入り混じっている状況で、特に未満児(0.1.2歳児)においては同じ子どもが何度も発熱で欠席することもありました。

胃腸炎は5月から感染の流行が続いていましたが、6/14に終息しました。

全国的にRSウイルスの流行が続いています。症状は、風邪症状や細気管支炎、肺炎など様々で、乳幼児と老人は重症化しやすいです。

風邪症状が出た時、発症後すぐに病院は受診していると思いますが、症状が変化してきたとき(咳がひどくなってきた、受診した時にはなかった症状など)や、処方された薬を飲みきりまだ症状が残っているときは再受診しましょう。毎度すみませんが、その都度保育園への登園ができるかどうか医師に確認をお願いします。

どの感染症も、新型コロナウイルスの感染予防対策と重なってきます。長期戦になり、気も緩めたいところではありますが、みんなで予防していきましょう。

朝ごはんを  
元気のスイッチを  
押そう!

育ち盛りの子どもたちは、毎食しっかり食べることが大事です。活動エネルギーを補給するだけでなく、成長のためのエネルギーも必要だからです。これからの季節は過ごしやすくなってきているので、外遊びも増えてきます。朝ごはんをしっかり食べて、元気のスイッチをONにしましょう!



## 新型コロナウイルスの予防



とうとう盛岡市も新型コロナ感染がステージⅣに入りました。また、10歳未満の児童に陽性者が出てきています。岩手県のまん延防止法の提言に沿って行動をお願いします。



- 手洗い・うがい。  
こまめに石けんで手を洗う。(食事の前、トイレの後、帰宅後など)
- 適度な換気。
- 出来るだけ密(密閉、密集、密接)を回避する。1つの密でも避ける。
- 適切な方法(鼻にフィットさせる)でマスクを着用する(乳幼児は不要)。
- 掃除、消毒。手の触れやすいドアノブやスイッチ。床や壁など。
- バランスのよい食事。
- 睡眠をしっかり取る。
- 毎日の検温(体調の異変を早期発見)。
- 体調が悪い時は無理をしないで大事をとる。(予定を見合わせることも大事)
- 県は、「岩手緊急事態宣言」に基づき、不要不急の外出や都道府県をまたぐ移動、家族の受け入れ原則中止または延期することを県民に要請しています。

※やむ負えず県外に外出される方は、その後の健康観察を十分に行ったうえでの登園をお願いします。可能な方は、数日~2週間程度の観察期間を設けてお休みいただきたいです。また、県をまたぐ移動があった場合(園児)は連絡ノートで担任までお知らせください。

- ①発熱、強い倦怠感、喉の違和感など、疑わしい症状がある場合は「かかりつけ医」に電話で相談してください。
- ②相談する医療機関に迷う場合や「かかりつけ医」がない場合には、「受診・相談センター」に電話相談してください。



受診・相談センター 019-651-3175 (24時間対応)

### マスクの確認をお願いします

- ①マスクのゴムひもが緩く、鼻と口をしっかりと覆えないようになっている子どもが見られます(特に手作りのもの)。つけ直しするなど、改善をお願いします。
- ②マスクの予備の補充を忘れずに。使用済みのマスクもビニール袋に入れて返しているの、見間違えることもあると思いますが、子どもに確認しながら補充してください。

園児、及び保護者など同居している家族がPCR検査等を受けることになった際は、速やかに園に連絡をお願いします。また、PCR検査の結果待ちで自宅待機している同居家族がいる場合は、その期間は園児も自宅保育をお願いします。保健所の指導のもとに保育の受け入れをしていますが、それぞれのケースによって異なってくる場合があります。